

フライングディスク競技実施要領

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領に定めるものとする。

2 招 集

- (1) 補助競技場内、倉庫側の入口付近とする。
- (2) 招集時刻は、競技種目の開始時刻を基準として下記のとおりとする。

- ・招集開始時刻 ⇒ 競技開始 20分前から
- ・招集完了時刻 ⇒ 競技開始 10分前まで

(3) 招集の方法

- ア 選手は、招集時間内に点呼を受ける。
- イ 招集が終わった選手は、係員の指示に従い、その場に待機し誘導を待つ。
- ウ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権したものとみなし、競技に出場することができない。

3 競技場への入退場

- (1) 競技場への入退場については、すべて係員の指示により行う。
- (2) 競技が終了した選手は、競技補助員により本部記録に誘導された後、解散する。
ただし、1～3位までの入賞者は、競技補助員の誘導のもと、メダル受渡所で入賞メダルを受けとり、解散する。

4 競技服装

- (1) 運動のしやすい服装とし、運動靴を使用する。
- (2) ナンバーカード(ゼッケン)は、主催者が交付した登録番号を本人が準備し、上衣の胸部及び背部につける。車椅子使用は、競技役員の指示に従い、車椅子の見やすい位置に付ける。

5 介 助 者

- (1) 介助者として競技場内に入場を希望する者は、あらかじめ主催者の許可を受けなければならない。「介助・伴走許可証(ビブス)」の交付を受けた者に限り競技場内に入場することができる。
- (2) 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では選手の競技上有利になるような助言等してはならない。

6 競技方法

- (1) 競技は、アキュラシーにディスリート・スリーを加える。
- (2) 競技はすべて競技役員の指示にて進行する。
- (3) どの種類の投げ方でも認められる。
- (4) 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分を超えた試技は無効とする。
- (5) 各サイトは、競技場の状況等を踏まえて競技に支障がないよう適切に設置する。
- (6) 競技に使用する公式ディスクについては、主催者で用意する。

7 表 彰

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰式は行わず、競技の各組別に1位から3位までの入賞者にメダルを授与する。

8 そ の 他

- (1) 競技場内へは、競技者、競技役員、競技補助員、大会ボランティア、大会役員、大会実施本部員、及びあらかじめ許可された介助者、報道関係者以外は立入ることができない。
- (2) 競技の結果または行為に関する抗議は、団長または引率責任者を通じて行うものとする。